



特集

日本での市場調査に対する信頼度が大きく低下!?

GRBN が『グローバル信頼度調査 2022』を公表

TOPICS

- 市場調査の 2022 年を振り返る
- 西日本コラボレーション研究会 周年イベント開催報告

Vol.62

2022/12/20 配信

このメルマガが配信される頃にはワールドカップの決勝がすでに行われ、優勝が決まっているはずですが、今これを書いているのは 12 月 13 日で、準決勝の前日となります。アルゼンチン対クロアチア、フランス対モロッコの対戦、その後の決勝が楽しみです。

日本は今回も 16 強止まりでしたが、ドイツ、スペインを破るなど、国中を熱狂させてくれました。他のスポーツ同様、サッカーもデータの活用が大いに進んでいます。公式球自体にモーションセンサーのチップが埋め込まれており、リアルタイムでの位置トラッキングが可能になっているそうです。スペイン戦での三笥選手のクロスも、これによってインプレーと判断されたわけですから。

ニュース番組で拝見したのですが、ピッチ外でも選手の体調管理にスマホのアプリを使用し、状態に応じて練習内容を変えたり、練習中の心拍数の計測や GPS による移動速度、最高速度に達するまでの時間など、あらゆるデータを取得してチーム戦略に役立てているそうです。

日本はクロアチアとの対戦で PK 戦の末に破れてしまいましたが、その際の南野選手のコメントで、以前所属していたリバプールでは、頭に脳波計測センサーを付けた上で PK 練習を行ったと語っていました。また、クロアチアのキーパーは PK 戦の直前に、何らかのデータを確認していたそうです。

サッカーは今後もデータ活用が進み、次回のワールドカップでは新たな戦術が生まれているかもしれません。

<JMRA ウェブ・メルマガ委員会>

[メルマガ登録について詳しくはこちら](#)

特 集



日本での市場調査に対する信頼度が大きく低下!?

GRBN が『グローバル信頼度調査 2022』を公表

世界各国の市場調査協会の連合体である GRBN では、2020 年に引き続き、日本を含む世界 8 カ国で『グローバル信頼度調査』を実施し、このほどその結果を公表しました。

コロナ禍を受け、国際的に政府機関や保健当局への信頼度が著しく低下する中、市場調査業界（企業）に対する信頼度は全体として横ばいでしたが、日本では大きく下落した（総合信頼度指数 $\pm 0 \rightarrow -13$ ）ことがわかりました。

また、日本では他の専門機関への信頼度もおしなべて低下（対象業界全体：-4 ポイント、データ分析業界：同-3、世論調査業界：同-11）しており、この 2 年の間に構造的な意識変化が生じた

可能性があります。

なぜこのような結果に至ったのか、今回の限られた調査データからはその真相に迫り切れませんが、日本では特に「市場調査が消費者に利益をもたらしていると感じられない」こと、「調査に協力する時間が長すぎる」こと、「調査に協力しても楽しいと感じられない」こと、「個人情報の収集と使用方法に関する認知度が低く」、「個人情報保護の不正使用に関する懸念が強い」ことなどが示唆されています。

私たちはこの結果をどう受け止め、今後に向けて何をなすべきなのでしょう？

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



変化の波をとらえる

市場調査業界の 2022 年を振り返る

世界的な事件が相次いだ 2022 年でしたが、with コロナに向けた進展が見られ、市場調査業界も、テレワークに代表される新たな働き方や加速度的に進化している AI の技術が浸透してきました。

また、年明けに発表した非公正な「No.1 調査」への抗議状は、新聞やテレビ番組等を通じて大きな反響を呼び、幅広い層から市場調査が持つ信頼性や透明性の意義について、ご理解・ご支持をいただきました。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



開催報告

西日本コラボレーション研究会 周年イベント(11/24)

2022 年 11 月 24 日に、西日本コラボレーション研究会では、年に1度実施している「周年イベント」を開催いたしました。コロナ以降、2 年連続でオンライン開催でしたが、今年はリアルとオンラインのハイブリッド開催とし、研究会の独自企画として外部ゲストをお招きしての講演会には、リアル 9 名、オンライン 13 名の計 22 名にご参加いただきました。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



「クライアントの取り組みを聞く」シリーズ 開催報告

シリーズ第 3 弾: キリンホールディングス様(12/6)

本シリーズ第 3 弾は、キリンホールディングス ヘルスサイエンス事業本部 Kirin Well-being Design Lab シニア・フェローの太田恵理子様をゲストにお招きし、かつリサーチ・イノベーション委員会が主催する Slack の「インサイト部」に事前質問をお寄せいただいた方々にもご登壇願って、インタラクティブな意見交換を行いました。

参加者の皆さまからは、「登壇者と質問者とのやりとりがダイナミックで面白かった」「客観的な視点、俯瞰的な視点、長期的な視点、非言語データの理解力に価値があることが理解できた」「シンクタンクの役割の話のなかで、“想定外の未来の準備”という言葉が印象的でした」など、事業の最前線におられる方々のリアルなやり取りに、大いに刺激を受けられたようでした。

[詳しくはこちら](#)

TOPICS



公的統計市場に関する年次レポート2021

JMRA 公的統計基盤整備委員会の取り組みをまとめた 「公的統計市場に関する年次レポート 2021」を公開

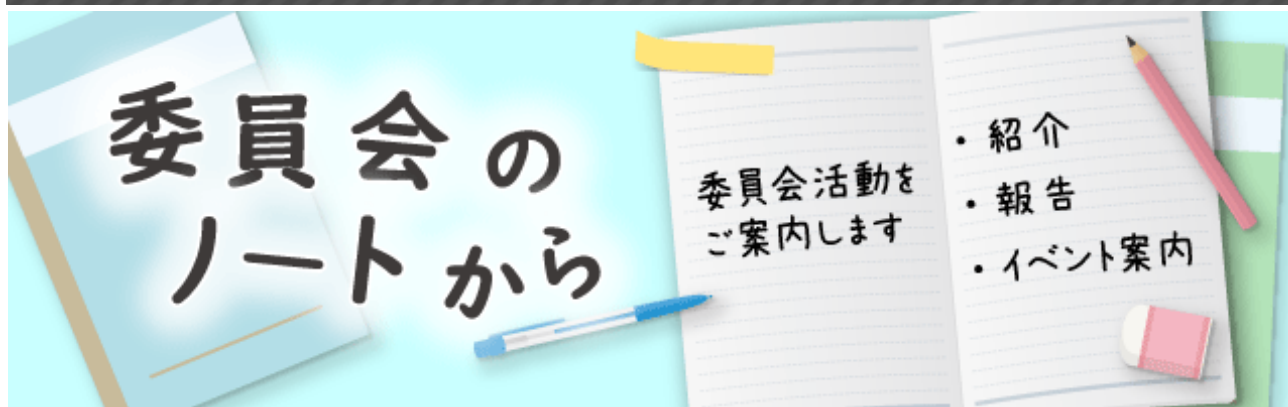
JMRA 公的統計基盤整備委員会の取り組みをまとめた「公的統計市場に関する年次レポート」の 2021 年版を公開しました。

国の公的統計整備に関する基本計画において、データの利活用推進が主要施策に掲げられている今日、民間調査会社は統計調査の受け皿として重要な役割を果たしています。

JMRA では、委員会活動を通して、関係各府省の統計主管部署をはじめ、官界や学識者との良好な信頼関係を構築し、継続的な統計の質確保と公的統計市場の発展に繋がる活動の一環として、毎年レポートを公開しています。

2021 年度のレポートは下記よりご覧ください。

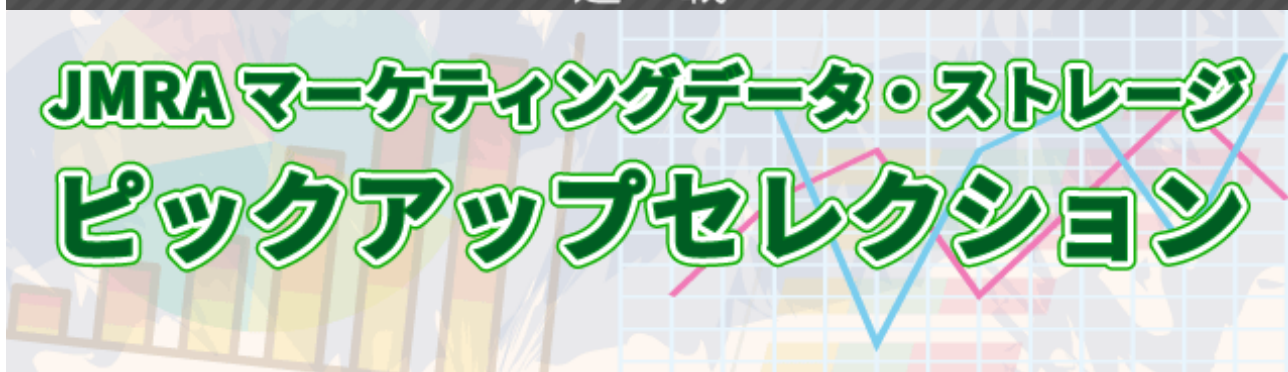
[詳しくはこちら](#)



JMRA では、多くの委員会が活動しています。それぞれの委員会がどのような方向性で何に取り組んでいるのか、毎月ひとつの委員会を取り上げ、情報の発信をいただきます。

今回はリサーチ・イノベーション委員会です。

[詳しくはこちら](#)



最近 JMRA マーケティングデータ・ストレージに掲載された会員社の自主調査から、ウェブ・メルマガ分科会が精選した自主調査をご紹介します。

今月の注目調査

(2022.12.6(株)クロス・マーケティング)

「温活」ってご存知ですか？冬本番を迎え、身体の冷えを感じることも多くなったと思います。「温活」には体調を整えるだけでなく、心のケア効果を期待して行ってる人が多いそうです。

[詳しくはこちら
\(JMRAマーケティングデータ・ストレージ\)](#)

今月の注目調査

査(2022.12.2(株)ネオマーケティング)

通販サイトの利用状況を見ると「本・雑誌」は8割強と高いが、「飲料・酒類」「食料品」「生鮮食品」は1割前後と、まだまだリアル店舗が優勢のようです。その理由は…下記よりご覧ください。

[詳しくはこちら
\(JMRAマーケティングデータ・ストレージ\)](#)



『トランスフォーミング インサイト』 ～成功する企業インサイトチームの42の秘訣～

トランスフォーミング・インサイト

インサイト部門のリーダーたちの学びと情報交換のための組織インサイトマネジメントアカデミー IMC の CEO ジェームズ・ウィッチャーリー氏の『トランスフォーミング・インサイト～成功する企業インサイトチームの42の秘訣～』という本を元に、リサーチ業界にとってのクライアントである企業の「インサイト部門」にとっての課題を掘り下げていきます。

今回は「第1部 組織にとっての価値を特定する」より

第8章 インサイトの種まき

第9章 ナレッジの育成

を紹介します。

著者:ジェームズ・ウィッチャーリー インサイトマネジメントアカデミー CEO

翻訳:岸田 典子 リサーチ・コンサルタント

[詳しくはこちら](#)

What's happened?

おすすめ記事をピックアップしてご紹介

広告・マーケティングの最新動向がわかるマーケター向け専門メディア「MarkeZine」から、おすすめ記事をピックアップしてご紹介いたします。

今月の注目記事

●MMMってなに？ マーケターが知っておくべき最低限の基礎知識を解説
現在行われている効果検証の問題点

詳しくはこちら
(外部サイト:MarkeZine)

今月の注目記事

●広告業界ではもはや常識に。
テクノロジーの最適活用に不可欠な「テクニカルディレクター」とは

詳しくはこちら
(外部サイト:MarkeZine)

育成講座・セミナー・イベント・説明会のお知らせ



マーケティング・リサーチ エキスパートコース

2023年1月23日(月)・26日(木)

●マーケティング・リサーチ エキスパートコース

多変量解析法の利活用講座 ～予測要因分析と構造分析の利活用～

本講座では、多変量解析の手法である「予測要因分析」と「構造分析」について学習します。マーケティングの視点からは、検出された各要因(「独立変数」、「説明変数」)のどの要因が、どのように消費者の購買態度・行動(「目的変数」、「従属変数」)に影響を与えているのかが判明しますので、マーケティング戦略に大いに活用することができます。

また、消費者の態度・行動の背景にあり、その基となる複雑重層的な要因構造を探索・究明することは、製品・サービスのターゲット層を見出し、そのターゲットをどのようなコンセプト、どのような素材や効能(コンセプト付きプロダクト)で攻略するのかというマーケット戦略の構築に大いに役立つと考えられます。

そのため、クライアント・調査会社双方のマーケティング・リサーチ計画・分析担当者にぜひ受講することをお薦めします。

また、コンピュータ上で解析モデルを運用する担当者にとっても、本講座は作業内容の理解と品質向上に役立つため、受講をお薦めします。

・日程:2023年1月23日(月)・26日(木) 各日 10:00～17:00

・会場:JMRA 研修室(会場集合型対面形式講座)

詳しくはこちら



ストーリーテリング講座 ～レイ・ポインター氏のワークショップ～ 2023年2月2日(木)

●ストーリーテリング講座 ～レイ・ポインター氏のワークショップ～

あなたのレポートやプレゼンをもっと魅力あるものにする方法

あなたのレポートやプレゼンをクライアントを惹きつけ、なるほどと考えさせ、行動に移させるような価値あるものにするにはどうすればよいでしょうか。

単なる情報提供、ただの結果の羅列から脱却し、「その情報から何が言えるのか、ストーリーを組み立て、当事者意識をもって伝えること」。それがストーリーテリングの力です。

これを習得するためには体系立てた学習とトレーニングが必要ですが、そのノウハウを教育する機会はほとんどありません。ぜひ今回のワークショップをご活用ください。

本ワークショップはレイ・ポインター氏の人気のコースとして世界各地で実施されています。そのノウハウはリサーチャーに共通して必要とされるもので、日本でも同様に活用できます。

※講師は英語で説明しますが、日本語サポートがつきます(通訳ではありません)

・日程:2023年2月2日(木)10:00～17:15

・会場:JMRA 研修室(参集型セミナー)

[詳しくはこちら](#)

お知らせ

●公的統計基盤整備委員会が統計界の最高栄誉である大内賞を受賞

公的統計基盤整備委員会の長年にわたる統計の質確保と公的統計市場の発展に繋がる活動が評価され、この度、統計界の最高栄誉とされる大内賞を受賞しました。

詳しくは次号にてお伝えします。



●新刊のご案内 『会社を成長させるデザイン力』

JMRA 理事を務めておられる、株式会社プラグの小川亮代表取締役社長の新著が出版されました。

日々の仕事や経営でどのようにデザインを活かせば、商品がヒットし利益を生み出し、会社を成長させることができるのか、必要な知識や実践法を事例で解説されています。

- ・著者:小川 亮
- ・タイトル:会社を成長させるデザイン力
- ・定価:本体 1,700 円＋税
- ・ISBN:978-4800590527
- ・出版社:日本能率協会マネジメントセンター
- ・発売日:2022 年 11 月 26 日

詳しくはこちら
(外部サイト:ハイブリッド型書店『honto』)

●消費税インボイス制度に関する対応について

2023 年 10 月から「消費税の適格請求書等保存方式(いわゆるインボイス制度)」が本格施行されることとなり、適格課税事業者となるための事前登録期限が 2023 年 3 月末に迫ってきました。JMRA では新制度に適切に対応すべく、会員社向けに要請・推奨事項を発表しました。

詳しくはこちら
(PDF:163KB)

●年末年始休業のお知らせ

JMRA 事務局は、2022 年 12 月 28 日から 2023 年 1 月 4 日まで休業いたします。

ご不便をおかけいたしますが、何卒ご了承くださいますよう、よろしくお願いいたします。



JMRA メルマガ 62 号をお届けしました。

まもなく幕を閉じる 2022 年を振り返りますと、跋扈していた「非公正な“No.1 調査”」に対する抗議状を発表したのが 1 月。多くのメディアの方々の共感と同意を得て報道されたことで、社会問題として認識されるようになりました。

JMRA はこの件に関して、「ランキング広告表示に使用する調査データ開示ガイドライン」と「比較広告のための調査実施の手引き」を 5 月に公表し、その後は、広告関係の業界団体様に、これらのご説明と傘下の会員様に向けての啓発のお願いをしてきました。

その効果もあって、団体様主催のセミナーに 5 団体、都合 7 回の講演の機会をいただき、広報活動が行えました。

また喜ばしいこととして、8 月に日経『業界地図 2023 年』に、注目業界の 4 番目で「リサーチ業界」が紹介されました。世界の潮流にある「インサイト産業」との関連ですが、この種の書籍には初掲載となりました。

また 12 月には、公的統計基盤整備委員会が、我が国の統計の改善・発展への貢献を顕彰する栄誉ある「大内賞」を受賞しました。長年の取り組みが評価されたことは大変意義深く、2022 年を最高の形で締めくくることになりました。

読者の皆さま、この 1 年お付き合いいただき、ありがとうございました。どうかよいお年をお迎えください。

◆このメールはメルマガをご登録された方に配信しています。

◆配信停止を希望される方は [こちら](#)よりお願いいたします。

◆このメールは送信用アドレスから配信しているため、ご返信いただいてもお答えできませんのでご了承ください。

◆プライバシーポリシーは [こちら](#)をご覧ください。

◆配信元：一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-9-9 石川LKビル 2 階

<https://www.jmra-net.or.jp/>

office@jmra-net.or.jp

あなたの中に未来がある。